

小野 紀男 おの のりお

職 場 千曲市歴史文化財センター 文化財係
千曲市の文化財に係る業務の一切 (特に稲荷山伝建地区、煉捨の棚田)
出身 千曲市八幡
専門 考古学 (古墳時代)
推しの軍艦 陽炎型駆逐艦 「雪風」 太平洋戦争の主だった海戦に従軍し、唯一
ほぼ無傷で生き残った奇跡の駆逐艦。
座右の銘 常在戦場
一言 戦争 (第二次世界大戦) が科学技術の進歩に与えた影響について興味があり、
趣味で調べています。



千曲市歴史講座について

令和4年9月10日より、全7回シリーズで千曲市歴史講座を開催いたします。本講座は、千曲市域の歴史を古代から現代までさまざまな角度から知ってもらうことを目的としています。

今年度は、主に更級地域(川西地区)をテーマにすえ、これまで実施された発掘調査の成果や、市に寄贈された古文書の整理作業などから、新たに判明した内容等も交え、詳しく、そして分かりやすく紹介します。

文化財はただそこに残っているわけではありません。地域の皆さんが時には汗を流し、時にはお金を出し合い、守り伝えてきた努力の証です。

講座を通じ、受講者の皆様に千曲市域の歴史文化の奥深さを知っていただければ幸いです。

千曲市歴史文化財センター
さらしなの里歴史資料館

令和4年度 千曲市歴史講座

時間 各回13時30分～15時 (受付13時～)

第1回 あんず栽培と千曲市の歴史文化

9/10 土 稲玉 修治 歴史文化財センター所長

第2回 川西地区の縄文文化

10/8 土 塚原 秀之 長野市教育委員会文化財課主査

第3回 更級郡域の古墳と古道

11/12 土 平林 大樹 歴史文化財センター文化財係主査

第4回 更級地域の弥生時代

12/10 土 寺島 孝典 さらしなの里歴史資料館主幹兼学芸係長

第5回 新しい視点からみた社宮司遺跡と更級郡衙

1/14 土 鳥羽 英継 元長野県埋蔵文化財センター調査研究員

第6回 松田館の魅力ー松田家をめぐる歴史と文化

2/18 土 中島 文晴 歴史文化財センター文化財係主査

第7回 千曲市の戦争遺産

3/11 土 小野 紀男 歴史文化財センター主幹兼文化財係長

講師の紹介

稲玉 修治 いなだま しゅうじ

職 場 千曲市歴史文化財センター 所長

出身 千曲市森（小規模ですが「あんず」も手掛けています）

専門 法律（法学士） 古代中国史（三国時代前後） 柔道（講道館二段）

推しの歴史 中国古代史（主に三国時代） 日本近代史（明治～昭和初期）

座右の銘 「継続は力なり」（困った時には「晴耕雨読」）

一言 歴史を学ぶことは、突き詰めれば、将来を見据える目を養う「未来学」であると考えています。これまで市役所で様々な仕事に携わりましたが、常に過去と照らし合わせ、仕事を進めていくことが重要と思ってきました。



鳥羽 英 継 とば ひでつぐ

職 場 2年前まで小学校教員でした。今は退職して無職です。

出身 長野市篠ノ井

専門 奈良時代・平安時代の考古学

推しの遺跡 長野オリオンピクスタジアムの下にある南宮（なんぐう）遺跡。

豪族の大きな居宅があり、その豪族のもとで生産活動に従事する様々な農民の複合遺跡です。遺跡の上で熱戦が展開された高校野球のようにもって注目されればいいのになあとも思っています。

座右の銘 新一年生（升田幸三） 常に新しいものをもとめて研究を続けたいですね。

一言 20数年前、千曲市立八幡小学校で教員をやっておりました。社宮司遺跡はその時発掘していた遺跡で子どもたちや先生方とも見学に行きました。なつかしい地域の題材で、お話ができることをとてもうれしく思っています。



塚原 秀之 つかはら ひでゆき

職 場 長野市教育委員会 文化財課

出身 千曲市稲荷山

専門 考古学（縄文時代）

推しの遺跡 宮崎遺跡（長野市若穂保科）

座右の銘 案ずるより産むが易し

一言 自分のふるさとでもある川西地区の縄文時代について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。よろしくお願いします。



寺島 孝典 てらしま たかのり

職 場 千曲市さらしなの里歴史資料館

（資料館の管理運営、体験学習等指導）

出身 長野市（現在は千曲市上山田温泉に居住）

専門 考古学（弥生時代中期土器）

推しの塔 五重塔編 羽黒山五重塔…森の中に聳え立つ姿が、たまんねえ

三重塔編 安楽寺八角三重塔…唯一現存する八角屋根根が、たまんねえ

多宝塔編 石山寺多宝塔…美しすぎて、たまんねえ

番外編 五稜郭タワー…函館五稜郭が丸見えで、たまんねえ

座右の銘 好きこそ物の上手なれ

一言 更級地域の弥生時代は、遺跡数があまり多くなく、発掘調査が実施された遺跡も少ないので解らないことだらけですが、調べてみると結構奥が深く面白いですよ。



平林 大樹 ひらばやし ひろき

職 場 歴史文化財センター 文化財係

（埋蔵文化財の保護・活用、日本遺産その他）

出身 千曲市上山田（実家はアツプルファーム）

専門 考古学（古墳時代の武器） 高校～大学で弓道部だったこともあり、

古墳から出土する鉄のやじりが、どこで作られ、どのように流通したのかを追い続けています。

推しの古墳 静岡県沼津市高尾山古墳（70mの前方後方墳） 学生の時、道路建設で破壊される古墳の調査

に参加していました。埋葬施設から銅鏡や武器が出土し、東日本最古の古墳であることが判明しました。紆余曲折の末、道路設計が変更され、現地に保存されました。

座右の銘 おもしろきこともなき世もおもしろく（高杉晋作）

一言 古墳は意図をもってつくられた記念物ですので、大きさは形、立地に何か意味があるはず。古代人との知的格闘が続いています。



中島 文晴 なかじま たけはる

職 場 歴史文化財センター文化財係

（市内に残る古文書の調査研究をしています。）

出身 東京都大田区

専門 日本中世史（特に南北朝～室町時代）。大河ドラマ

「鎌倉殿の13人」や、ひところ話題になった「応仁の乱」の時代です。

足利直義。室町幕府を開いた足利尊氏の弟です。教科書に載っている「源頼朝」像は、実はこの人だという説もあります。実務家としてすぐれており、ずぼらな尊氏を支えました。この人がいなければ室町幕府は軌道に乗らなかつたでしょう。最後は兄・尊氏に毒殺されました。玉磨かざれば光なし、人学ばざれば道知らず。

一言 自宅に古文書がある、という方はぜひご一報ください！出張調査いたします☆

